

HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.21 no.1

(年間5回刊行・通巻115号)



日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 林 浩司

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金 歯科医師 5,000円

その他 3,000円

学会年会費 歯科医師 12,000円

その他 3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

銀行振込口座 三菱東京 UFJ 江戸川橋支店

普 0051809

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

重要なご案内

● 以下の同封物をご確認ください。

1. 2018年度ステッカー

2. 2018年度会費振込用紙

2018年度会費の払込用紙を同封いたしましたので、お早めにお払込みくださいますようお願い申し上げます。(行き違いになりましたらご容赦ください)。

3. ウィステリアセミナー案内

4. 名古屋ワンデーセミナー案内

5. 東京ベーシックセミナー案内

6. HyG Times no.37

催しものご案内

① オピニオンメンバー会議・併催セミナー

日時：2018年3月11日

会場：ビジョンセンター浜松町

② 神戸ウィステリアセミナー

日時：2018年4月22日

会場：スペースアルファ三宮

③ 名古屋ワンデーセミナー

日時：2018年5月20日

会場：名古屋コンベンションホール

④ 口腔内写真撮影相互実習研修会

日時：2018年5月20日

会場：太陽歯科衛生士専門学校

⑤ 第15回認証診療所ミーティング

日時：2018年6月24日

会場：千里ライフサイエンスセンター

⑥ 東京ベーシックセミナー

日時：2018年5月27日

会場：エッサム神田ホール2号館

巻頭 20周年は次世代ヘルスケアのスタートへ . p.1	ヘルスケアフォーラム p.8
ヘルスケアミーティング2018 p.2	第13期歯科衛生士育成プログラム 募集案内 . . p.14
ウィステリア Pro とアポイント管理職 p.3	市販ことも用歯みがき剤ガイド 訂正・回収について . p.15
報告 ACFF の日本支部設立 p.7	第15回認証診療所ミーティング p.15
告知板 p.7, 14	催し物セミナー 案内 p.16

20周年は次世代ヘルスケアのスタートへ

杉山精一 (日本ヘルスケア歯科学会 代表)



1998年3月に日本ヘルスケア歯科研究会が設立されて今年で20周年です。

日本ヘルスケア歯科研究会設立当時の日本の歯科の状況は、先進工業国と比べて、う蝕有病者率は高く、歯周病に対する治療も不十分でした。特に、疾患のリスクを把握してリスクの改善を図るという考え方は皆無でした。私たちの会は、これら日本の歯科における問題を解決しようと考えた歯科関係者によって設立され、病因論を理解してリスクを把握する、リスクの軽減には歯科衛生士を中心としたチーム医療で行い、疾病の経過は客観的に記録して患者さんと共有していくという新しい歯科医療のかたちを提示して、日本の歯科界に影響を与えてきました。設立から20年を経て、この新しい歯科医療のかたちに対する理解は広まり、予防型歯科医療として多くの歯科医が実践する時代になってきています。

ヘルスケアの会員に蓄積された臨床記録から大学研究者と協力調査や共同研究を行って国際的な学術誌にアクセプトされるような成果もあげてきました。一時は、開業医の臨床データに対する混乱(汚いデータを集めても意味がない)もありましたが、認証診療所のような一定の基準を満たして、目指す方向が同じ医院のデータであれば十分価値がありぜひとも推進するように、と海外の研究者から言われて自信をもつことができるようになりました。ICDAS フォトパネルの写真は、厚労省の診療報酬改定の際の資料として活用されて、疾患の重症化予防という新たな考えを歯科に導入することに役立ったようです。高い設立理念を掲げてスタートして、その実現にはいろいろと試行錯誤しながら歩んできましたが、20年を振り返ってみると、住民によりよい歯科医療を提供することに貢献してきたことは事実であり、今後さらに推進していくべきと考えています。

日本の保険医療制度は、歯科においても緊急処置から補綴治療まで幅広い治療を提供し、すべての国民と年代を対象にしており、世界でも類をみない先進的な制度です。住民にとっては、日々の生活の中で健康保険証1枚あれば歯科受診ができることが定着しており、高齢になっても安心して暮らせることに大きく貢献しています。私たちの多くの会員はこの制度のもとに診療しており、様々な臨床データと長期にわたる症例はこの制度をより充実させていくためにも大切ではないでしょうか。小児若年者のう蝕は減少しましたが、ごく一部の集団では、以前よりも状況が悪化していたり、高齢者の残存歯数の増加に伴い、生活菌のクラッ

ク、根面う蝕、セメント質剥離、歯列の変化など20年前には見えていなかった様々な問題も生じています。「生涯自分の歯で過ごせる人生」をより多くの人に実現するには私たちの会が取り組むべきことが山ほどあります。そのためには、多くの若い世代がヘルスケアの会員となって、この20年の経験を共有して、さらに設立理念の実現に向けて進んでもらうことが急務です。

今年のヘルスケアミーティングは、ひとりでも多くの若い歯科医師、歯科衛生士、歯科関係者に参加してもらい、ヘルスケア20年の経験を共有してさらに新しいヘルスケアのスタートとなるミーティングにしたいと考えています。ぜひとも学生や勤務医とその友人や関係者に積極的に参加を呼びかけていただくようお願いいたします。



ヘルスケアミーティング 2018

日本ヘルスケア歯科学会 20周年記念シンポジウム

あした

明日は見えていますか？ あなたが創る未来の歯科医療

日時：2018年11月23・24日（金祝・土）

会場：秋葉原コンベンションホール（東京・秋葉原）

Day 1 11月23日（金祝）10:00～17:45（懇親会 18:30～）

日本の歯科医療の現状と将来展望とヘルスケアの活動実績（臨床成果など）をもとにディスカッションを通じて「明日を〈見える化〉する」パートとする。

- | | | |
|--------|--|----------------------------|
| 10:00 | 趣旨説明 | 齊藤 仁（札幌市開業） |
| | 設立から20年を経て次代を担う歯科医師の意識・考えはどうなっているか？
来院する患者さんの現状はどうなっているか？（初診来院調査から） | |
| 10:20 | 講演1 日本の歯科疾患の変化と今後 | 相田 潤先生（東北大学歯学部准教授） |
| 11:20 | 休憩 | |
| 11:30 | 講演2 日本の歯科保健の現状と今後 | 小椋 正之先生（厚生労働省歯科医療管理官） |
| 12:30 | 昼食 | |
| 13:30 | 講演3 ヘルスケア歯科診療を実践してきた成果 | 藤木 省三（神戸市開業）・杉山 精一（八千代市開業） |
| 15:00 | 休憩 | |
| 15:15 | ディスカッション | |
| ～16:15 | | |
| 16:30 | 交流会 | |
| 18:30 | 懇親会（グレースバリ秋葉原店） | |

Day 2 11月24日（土）9:30～13:00

バーチャルヘルスケア歯科医院見学（仮題） 担当：林 浩司 齊藤 仁 サポート：秋元秀俊

受付、診療前準備、歯科衛生士の診療、口腔内写真撮影と現症や口腔衛生状態の説明、症例カンファレンス、ミーティング……などヘルスケア歯科医院の日常の様子を複数医院から短いビデオで紹介することにより、ヘルスケア歯科診療にはいろいろな段階、いろいろななかたちがあることを示す。その多様性の中に本質があることを意識して構成し、ビデオ提示した後、各々ディスカッションを行う。

ポスター発表

テーマは、「私の医院のヘルスケア〇〇年」および自由題とします。

ウイステリアProとアポイント管理職を 使ってみよう！ III (その12)



藤木省三 (日本ヘルスケア歯科学会副代表・神戸市開業)

*** 基本的な注意 ***

- ※ウイステリアなどのファイル名を変えないでください
- ※バックアップは毎日必ずとりましょう (日付ごとに一定期間分を残しましょう。上書きコピーはNG！)
- *バックアップが必要なファイルおよびフォルダ*
- ・ウイステリア Photo50 ・アポイント管理職 3

- ・来院履歴 5 ・唾液量 5 ・抜歯履歴 5 ・処置履歴 5
- ・PerioAssistant5 ・XRAssistant111
- ・ (NewFile) フォルダ (ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ)
- ※旧バージョンのウイステリアをご使用の場合はファイル名が一部異なります。

ウイステリア，子どもの患者への活用 (1)

また新しい1年が始まりました。皆さんの診療室でも新しい目標を決めてそれぞれ頑張っておられることと思います。このコーナーでは、今年はウイステリアの活用法について皆さんにお伝えしていこうと思います。

今年最初のテーマは、子どもの患者へのウイステリアの活用です。今回は入力について、次回は入力した内容の活用について書くことにします。

来院履歴

ウイステリアを長く使っていると、来院履歴を記録できることがウイステリアの大きなメリットであることがわかってきます。DMFT, dftあるいはサリバテストに比べると知名度が低い(?)かと思いますが、患者さんが来られたら、必ず来院履歴を入力する習慣をつけてください。図1のように基本画面からも、図2のようにう蝕画面からも入力が可能です。

漏れなく入力するためには、入力を誰が担当するかを院長とスタッフで検討して決めておくといいでしょう。

図1からは、この患者は0歳から来院し、直近の6年間は必ず2回の定期健診を受けていることがわかります。家族全員で来られてることもわかります。なお、2016年9月14日の処置は乳歯の抜歯です。

最終来院日とリコール期間

来院履歴のファイルができるまで大変重要な役割を果たしていたのが、「最終来院日」フィールドです (図3)。このシリーズの第6回 (ニュースレター Vol.19 no.5) で書きましたが、このフィールドは“定期健診”“メンテナンス”に来たときだけ更新するようになってほしいと思い



図1 基本画面



図2 う蝕画面



図3 最終来院日とリコール期間

ます。そして、「リコール期間」(メンテナンス間隔)のフィールドも活用してください。これを入れておくことで、メンテナンスが途切れてどれくらいになるかを計算することができます。

dft, DMFT

ようやくできましたが、初診時の dft, DMFT を忘れずに入力しましょう(図4)。次のバージョンでは、入力を忘れてしまうと何かお知らせするような仕組みを考えたいと思います。そして、来院ごとに“更新”を忘れないようにお願いします。

処置入力

dft, DMFT まで入力しておけば大抵の情報を検索することができます。でも、「子どもの歯科臨床をもっと！もっと！楽しみたい」というのであれば、第6回で書いたように、処置入力フィールドを活用することをおすすめします(図5-1, 2, 3)。う蝕予防のヒントを探したり、スタッフ全員で頑張った成果を知ることができます。

サリバテスト

このフィールドの意味合いは、ウイステリアの開発が始まった頃と比較するとやや低くなってきたかもしれません。次のバージョンでは、このデントカルトを参考にした形式だけでなく、生活習慣も含めたリスク要因を PerioAssistant のように時系列でリスクの変化を把握できるような形式も採用する予定です。

メモ欄の活用

その他、子どもの定期健診では、フッ化物洗口を勧めたり、様々なパンフレット類を用いて注意を促したりします。きちんとフッ化物洗口を続けているか、パンフレットを渡し忘れていないかなど記録しておくのは結構手間です。ウイステリアのメモ欄を使うと楽かもしれません(図7)。

- 例1) フッ化物洗口：現在の使用状況だけでなく、チェックした日付を入れておくとういと思います。
- 例2) パンフレット類(図8-1~3)を渡した日付を入力します。



図4 dft, DMFT (う蝕または歯周病画面で入力)



図5-1 処置入力 担当医欄を活用



図5-2 処置内容に部位を入力

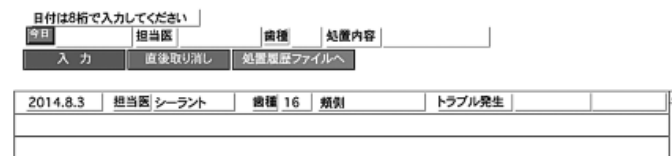


図5-3 入力後の画面

ガイドライン	サリバ検査日	ブラーク	M.S.	L.B.	食事	5分唾液	フッ素	フッ素虫歯の経緯	検定能	家庭	診療所 dft, DMFT	残存歯	Total
1回目	20071029	9	2	3	0	5	0.9 ml	黄	○	X	0		14
2回目							ml						
3回目以降							ml						

図6 サリバテスト結果入力欄 (う蝕画面)

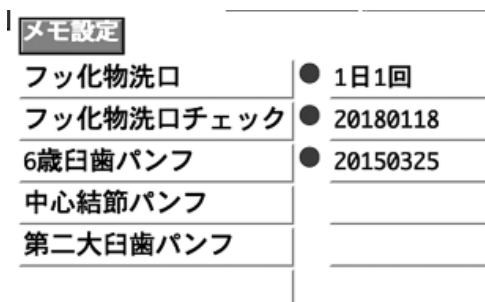


図7 フッ化物洗口：現在の使用状況だけでなく、チェックした日付を入れる。パンフレット類を渡した日付を入力。

らくさいきゅうし 6歳臼歯について

6歳前後に生えてくる、永久歯の中で一番大事な歯です

★歯が力も最も強い!
★歯並び、かみ合わせの基準になる!

注意!

- 生えてきたことに気づきにくい
一番奥の乳歯の後ろに6歳臼歯が!
- 完全に生えるまで時間がかかって、歯磨きが難しい
★歯ぐきがかぶっている
★歯の溝が深く、汚れがたまりやすい
★シラント(むし歯になる前に深い溝を埋める処置)が必要な場合もあります
★一番奥で磨きにくい
- 生えたとの歯は軟らかい
もともと質の弱い歯が生えてくることもあります
むし歯になりやすい!

★仕上げ磨きの際には、1番奥の乳歯の後ろもよく観察してください

★少しでも生えてきたことに気づいたら早めに健診に来てください

大西歯科

ちゅうしんけつせつ 中心結節について

レントゲンに何か突っただものが写っています
この時期での確認が必要です

歯が生えてきたら、こんなに歯がとがっていました(中心結節)

中心結節が折れてしまうと... 神経にばい菌が入って神経が死んでしまいます

定期健診で早く見つけてカバーすると、神経を守ることができます

神経が死んで、歯の根の周囲が黒くなっています

中心結節は早ければ小学校3年生くらいから見られるようになります。早く見つけるために定期健診には必ず来てください

大西歯科

だいにだいきゅうし 第二大臼歯について

第二大臼歯は12歳前後に生えてくることから「12歳臼歯」とも呼ばれます
一番最後に生えてくる永久歯で(親知らずは除く)、この歯が生えそろうと永久歯列の完成です

注意!

生えてきたことに気づかないケースが多くみられます
↓
なぜかというとき...

★奥の方に生えるので、鏡を見たとしても気づきにくい
★年節的に仕上げ磨きを卒業している

小学校高学年になると、塾や習い事、反抗期などを理由に、歯科医院への来院が途絶えがちになります

定期健診で早期発見!

こんな生え方をすることもあります...

内側に傾いている
外側に傾いている
噛み合わせがずれている

こういうケースはハミガキがとても難しく、かみ合わせにも悪い影響を与えることがあります

大西歯科

図 8-1~3 大西歯科で作成しているパンフレット





ウィステリアデータの活用手法 その1

森 一弘 (アクセス代表)

に移し替えて活用する方法について解説してみたいと思います。

これまで何度も触れてきたことですが、ウィステリアは「カスタマイズフリー」です。「自分で自由に手を加えて構わない」という意味ですが、それを実行するには FileMaker の使い方がある程度マスターしないとできません。FileMaker Pro は数あるデータベースソフトの中では、飛びぬけて扱いやすいソフトなのですが、そうは言っても一般的なパソコンユーザーの方が使われるワープロソフトや表計算ソフトなどと比べると、やはり敷居は高いと言わざるを得ません。

カスタマイズまではしなくても、「ウィステリアに蓄積したデータを活用し、様々な分析をして医院運営に役立てたい」と思っている方も多いことでしょう。現在年2回、神戸と博多で行われているウィステリアセミナーでは、分析の仕方を藤木

省三先生がデモを交えて解説していますが、ユーザーの方々にウィステリアの利点を十分に体感していただくには時間も限られ、まして FileMaker の扱い方になれるという部分までは、その時間内でなかなか難しいところもあります。

そこで今回少し視点を変えて、ウィステリア内に蓄積されたデータを活用する方法として、FileMaker の「エクスポート」機能を使って、データを取り出し、エクセルなどの表計算ソフト

手順 1

まず、ウィステリアを開いた直後のメニュー画面から「基本データ画面」をクリック(①)し、基本データ画面上部の「全レコード表示」(②)をクリックします。クリックしても画面は変わりませんが、この動作で全患者のデータが書き出しの対象になります。その確認は、画面右側の「該当数」と「合計」の数値が一致(③)していれば OK です。その後、画面左上の「ファイル」(④)をクリックし、出てきたメニューの中から「エクスポート」



5

ート」(⑤)を選びクリックします。

手順 2

「ファイルへのレコードのエクスポート」の窓が出たらまず、データを書き出す場所をわかりやすくするために、「保存する場所」を「デスクトップ」(⑥)にします。続いて、ファイル名の枠に「患者データ」などとファイル名を入力(⑦)し(名前は何でもよい)、ファイルの種類を「コンマ区切りテキストファイル (*.csv)」(⑧)を選び、「保存」ボタンをクリック(⑨)します。



手順 2 Windows の場合

手順 3

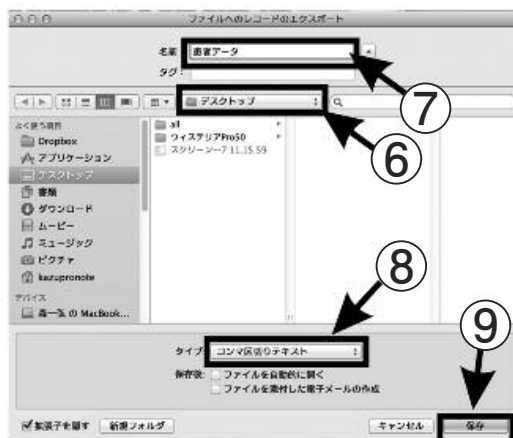
「フィールドデータのエクスポート順」の窓が出たら、下部の「出力ファイルの文字セット」枠部分を「日本語 (Shift-JIS)」(⑩)にし、「エクスポート」(⑪)をクリックします。

これで、デスクトップに「患者データ」というファイルが出てきます。この中にウイステリアから取り出したデータが入っています。今回のファイルは CSV ファイルというもので、一般的にはエクセルや Numbers など表計算ソフトであれば、間違いなく開くことが可能です。

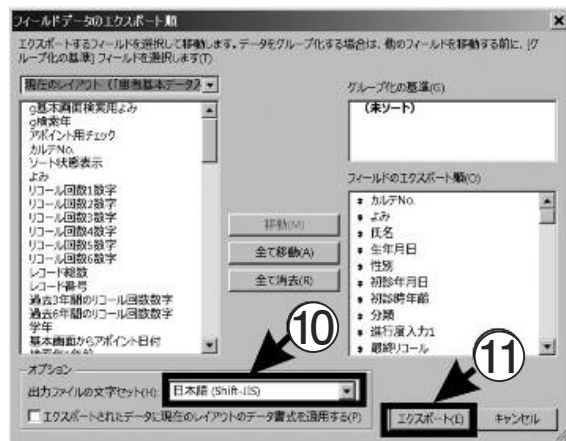
このやり方で取り出したウイステリア内のデータは、ウイステリアとは全く別のファイルになるため、どのように加工しようが、操作を間違えようが、ウイステリア本体に全く影響を与えないため、怖れることなくお試しができます。加えて、今回のエクスポートの手順の中で、操作ミスによってウイステリア本体に悪影響を及ぼす可能性はほぼないので、あまり FileMaker に慣れていなくても、手順通りに進めれば、エクスポート作業ができますので、ぜひ試してみてください。

この「患者データ」ファイルを表計算ソフトで開いてみると、少しは操作のハードルが下がるのではないのでしょうか。ぱっと見たところでは、カルテ No や患者名といった部分は識別できると思いますが、一番上に項目名がないので、全部の項目が何なのかわかりにくいと思います。

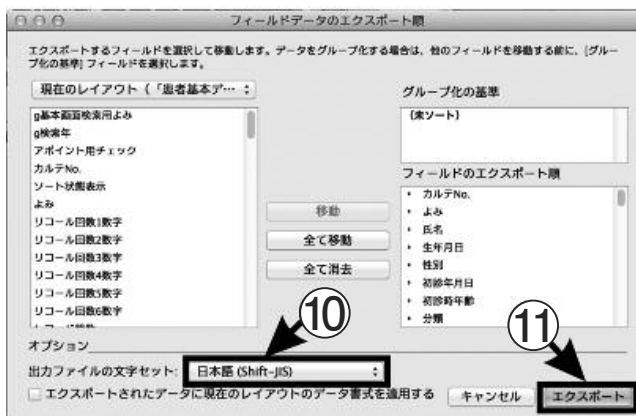
今回はここまで、次回はこの項目がどうなっているのか等、表計算ソフトでのウイステリアデータの活用方法について掘り下げていきます。



手順 2 Mac の場合



手順 3 Windows の場合



手順 3 Mac の場合

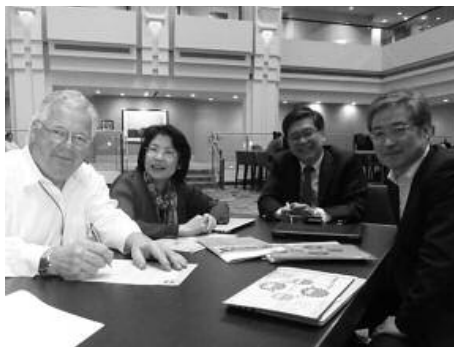
☆ アクセス 〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13
 TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767
 携帯 090-1920-7894 E-mail kazu@access-pcdoc.com
 URL https://www.access-dental.jp/
 URL http://www.access-pcdoc.jp

報告

ACFF の日本支部設立



「2026年以降に誕生する子供たちは、生涯をとおしてう窩を作らない」を地球規模でのゴールに設定する国際組織、Alliance for a Cavity Free Future (ACFF) の日本支部設立総会が、林美加子教授(阪大)と花田信弘教授(鶴見大)が設立発起人代表となり開催されました。英国から N. Pitts 教授 (Kings college London) が来日され、講演されました。日本歯科医学会の住友雅人会長、日本学校歯科医会の川本強会長など多くの大学、学会関係者が参加し、日本歯科医師会からは、高野直久理事のほか深井穂博氏など100名余りの参加で盛況でした。



昨年の3月のIADRの際に行われた日本支部設立の打ち合わせ

日本支部の3つの目標として、

- ① 幼児の口腔保健の格差と是正するために、地域行政に働きかけて、妊婦および母親教育を充実させる
- ② 生物学的なう蝕のマネジメントを推進するために、歯学教育に ICCMS を導入するよう、歯学部、学術団体、および行政に働きかける
- ③ 高齢者の根面う蝕を予防するために、う蝕罹患に関する実態調査を行い、効果的な予防法を探索する

の3項目が挙げられており、特に②について林先生は強調していましたが、この点は、ぜひ積極的に行ってほしいと思います。

Pitts 先生の講演は、2010年のACFFの設立から現在までの経緯と目的について40分ほど、その後厚生労働省の田口円裕歯科保健課長から、歯科保健医療施策について40分ほどの講演がありました。

この設立総会は、ICDAS, ICCMS (カリエスマネジメントシステム) を多くの方に知ってもらう機会になりました。今後は、毎年1回、学士会館で学術講演会が開催されるとのことです。

(杉山精一)



○神戸ウイステリアセミナー

日時：2018年4月22日(日)

場所：スペースアルファ三宮

参加費：

医院単位でお申し込みください。

1人目 15,000円

2人目以降 3,000円/1人につき

定員：40名

○口腔内写真撮影相互実習研修会

日時：2018年5月20日(日)

場所：太陽歯科衛生士専門学校

受講資格：会員・診療所会員

参加費：会員 20,000円

診療所会員 26,000円

定員：24名(最少催行人数8名)

申込締切：4月28日(土)先着順

○第15回 認証診療所ミーティング

日時：2018年6月24日(日) 12:00～

場所：千里ライフサイエンスセンター

(大阪)

○ヘルスケアミーティング2018

日時：2018年11月23・24日(金祝・土)

場所：秋葉原コンベンションセンター

○名古屋ワンデーセミナー

日時：2018年5月20日(日) 10:00～16:00

場所：名古屋コンベンションホール

参加費(昼食代含む)：

会員歯科医師 8,000円

非会員歯科医師 12,000円

会員スタッフ 3,000円

非会員スタッフ 6,000円

学生・研修医 2,000円

○東京ベーシックセミナー

日時：2018年5月27日(日) 10:00～16:30

場所：エッサム神田ホール2号館4F

参加費：

会員歯科医師 8,000円

非会員歯科医師 12,000円

会員スタッフ 3,000円

非会員スタッフ 6,000円

学生・研修医 2,000円



敬称略

ヘルスケア フォーラム

仙台ワンデーセミナー

2017年11月26日 ハーネル仙台

仙台ワンデーセミナーが、11月26日、仙台市のハーネル仙台で開催されました。11 医院の院長ほか、勤務医、スタッフ、学生など37人が参加されました。

もう一度開業する機会を得られたら 行いたい夢の診療スタイル



国井一好（山形市開業）

まずは、山形市近くでセミナーを開催していただきましたことをお礼申し上げます。

今回は参加者が割と少ないことが残念でした。「増患」が目的のセミナーではありませんが、結果的にはヘルスケア型診療は増患につながります。なぜ、参加者が少ないのか不思議です。出入りの材料屋から聞くとところによると山形市の診療所も患者さんが減って困っているところが多いそうです。業者さんは診療所の規模を1日来患者10人未満、20人未満、30人未満、30人以上と分けているようです。私も来院患者を増やすためヘルスケア型診療に取り組んだわけではありませんが、二十数年前ヘルスケア型診療に取り組まなかったら今頃どうなっていたかと思うと、ゾ～とします。

ところで、当医院は4年前にすべてのスタッフが交替したため、一からヘルスケア型診療を学ぶ必要があり、昨年に引き続き仙台ワンデーセミナーに参加いたしました。もちろん、院長である私が週1回30分のミーティングや診療後の集まりで、ヘルスケア型診療とはどういうものかは説明していますが、同じ志を持って全国で頑張っている歯科医師・歯科衛生士・スタッフの話がうかがうことが大変貴重な体験になると思い、出席いたしました。

当医院が認証をいただいてから13年ほどたち、診療スタイル・診療室・スタッフすべてが変わり、モディファイ（ソフト？・やりやすい？・ゆるい？）ヘルスケア型診療となっています。やはりこの日のプレゼンテーションは正統派ヘルスケア型診療で、皆さんきちんと取り組んでいられるなーと感心いたしました。特に、杉山幸菜さんが紹介してくださった新百合ヶ丘南歯科医院の取り組みは、私がもう一度開業する機会を得られたら行いたい夢のスタイルでした。どうある

べきか、制度やマネジメント（経営）に影響されない、本来の歯科医院のかたちだと思います。また杉山精一代表から最新のカリオロジーをうかがうことができました。日々科学は進歩しており時々アップデートしておかないと、時代遅れの説明を患者さんにしてしまいそうになります。そして、落合真理子さんのプレゼンは、自身の人生とヘルスケア診療を重ね合わせた内容も素晴らしく、そこに練り上げられる彼女のバイタリティーあふれる行動。あのパワーの源はなんなんだ！あの張り切り・元気はどこから来るのだ？そちらの方にも感心させられてしまいました。

後日、当院スタッフに感想文を読みましたが、やはりそれぞれが異なることに大いに興味を持ち、大いに感心したようです。

本当に素晴らしいセミナーでした。皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

“予防”に関して、改めて考える 良いきっかけ



木村未来（歯科衛生士・ゆいとびあ歯科医院）

仙台で行われたヘルスケア歯科学会のワンデーセミナーに参加し、当院でも大きな柱として掲げている“予防”に関して、改めて考えるいいきっかけをいただきました。今回は院長はじめ、スタッフ複数名での参加でしたので、その意味を医院として改めて実感するいい機会だったと思います。患者さんの一生涯に寄り添い、ライフステージ毎の変化を感じとりながら、長いお付き合いをしていける歯科医療の素晴らしさを感じました。

医院全体として診査基準を統一し、チームとして患者さんの健口（健康）を守り育てていくことが重要です。そのためには、病因論への理解を深め、規格性の



ある資料採得をし、常に検証と改善のサイクルを回していくことが必要とされます。私たち歯科衛生士が担当患者さんのためにできることは、目に見えにくい生活背景や環境の変化にこそフォーカスを当てて、アプローチをすることです。今回のセミナーで学んだ、“変化を診るメンテナンス”“点ではなく、線の臨床”ということの意味を今一度心に刻み、臨床の場で一人ひとりの患者さんと向き合うことで、自分自身と向きあっていきます。信頼関係の上に成り立つメンテナンスの中で、私たちもたくさん学ばせていただいていることを忘れてはならないと日々感じています。「痛い」「腫れた」「銀歯がとれて咬みにくい」等、口腔内のトラブルは患者さんを一気に日常から非日常へと追い込みます。今まで当たり前だった美味しい食事、楽しい会話すらも害してしまうこともあります。

健康志向が高まっている現代、歯科医院で定期的にメンテナンスを受けているだけで「自分は健康に気を使っている」「満足している」と思っている方は、少なくないように思います。そのような方にも、自身で健口を守る意味をご理解いただき、一緒に歩んでいけるパートナーとしての責任を全うしていきたいと感じています。この度は、貴重な学びの機会を

いただき、スタッフ一同感謝しております。ありがとうございました。

「こんなチャンス、滅多にない！絶対質問したい！」



下斗米美和（歯科衛生士・ゆいとびあ歯科医院）

私は今年歯科衛生士になり3年目になりました。担当の患者さんの数も嬉しいことに増えてきているのですが、「どのように患者さん自身に現状を知ってもらえばいいのか」「どのように伝えたら、患者さんに伝わるのか」日々考えていました。そんな中、今回このセミナーに参加し、質問の仕方ひとつで患者さんとの信頼関係を築くことができたり、患者さんの価値観を探ることができたりすることを学ぶことができ、今まで不安に思っていたことがセミナー中で少しずつ解決していき、翌日からの診療に活かしてみようと思うことができました。

実際に翌日から、会話や患者さんに質問をする際の尋ね方を学んだように行ってみたのですが、まだ尋ね方に慣れていないせいか意識しないと今までの尋ね方を

になってしまうこともあるため、早く慣れて、より患者さんとの信頼関係を深めていきたいと思っています。

また、今回は急遽お昼の時間を使って落合さんが口腔内写真のセミナーも行ってくださいました。「こんなチャンス、滅多にない！絶対質問したい！できることなら、実際に落合さんにアドバイスをいただきたい！」と思い、日々の診療で疑問に思っていたこと、不安に感じていることを伝え、落合さんに実演して頂きながら学ぶことができ、とても貴重な時間となりました。

口腔内写真はほぼ毎日撮影するため、よりスムーズに、そしてより患者さんに不快感を与えない、落合さんのような撮影の仕方を目指して技術力を上げていきたいです。

私たちゆいとびあ歯科医院は今回、院長+スタッフの計9名でセミナーに参加しました。

全員での参加ではありませんでしたが、医院の仲間とともに参加したことで、共通の学びができたことをとても嬉しく思いました。

最後に、今回このような学びの場を東北の地に与えてくださり、本当にありがとうございました！



歯科衛生士育成基礎コース

2018年1月7-8日 神戸常盤大学

第3回 歯周病とカリエスの病因論、患者説明の内容と要領、シャープニング (2018年1月7日)



前出彩華（歯科衛生士・デンタルフリーまちこクリニック）

1日目の午前中は、カリエス総論とペリオ総論の講義でした。クイズ形式の内

容だったので、考えながら楽しく受けることができました。知らなかった知識をたくさん得られたので患者さんの動機づけに活かしていきたいです。

当院でもICDASを活用していますが、まだまだ活用の頻度は少なくもっと浸透させていくべきだと感じました。サブカルテに記録しておけば進行度がスタッフ間で共有でき、とてもいいと思いました。



ほかにも、加熱式タバコの害を知ることができました。患者さんでもなかなか知らないことだと思うので、加熱式タバコの問題点をもっと伝えていきたいです。

午後からはシャープニング実習がありました。今までのシャープニングができ

ていたか不安な面もあったので、今回の実習で自信をつけることができました。スタッフの方が一人ひとり親身になって教えてくださったので、分からなかったことを解決でき、とても充実した二日間になりました。

第4回 超音波スケーラー実習, PMTC 相互実習 (1月8日)



田岡美紗 (歯科衛生士・
 枳富歯科医院)

2日目は超音波スケーラーの講義・実習から始まり、基礎的な知識や操作方法

を学びました。

チップを歯面に当てる角度やストロークに気をつけ、歯石を取ることにばかりに集中しすぎず、フェザータッチを心がけたいです。

歯周組織検査の模擬検定では、本番と同様に実際に行いました。コンタクト直下へのアプローチが不十分だったので、挿入角度を意識するようにご指導いただきました。

PMTC 相互実習では、まず講義で意味や必要性を学び、染め出しをし、ラバーカップなどを使い、プラークの残りやすい歯頸部や隅角、最後臼歯遠心面に当てる練習をしました。



今回習ったことはしっかりと復習を繰り返して、自信をつけて診療に活かしていきたいです。

次回はよいよ実技検定があるので、認定歯科衛生士合格へ向け、取り組んでいきたいと思っています。



報告



林 浩司 (真岡市開業)

2018年新年明けて早々、東京駅八重洲口近くの会議室にて「東京ヘルスケア診療所づくりミーティング」が開催されました。当日は朝から快晴で、翌日の大雪のことを思うと大変天候に恵まれました。

そもそも、東京ヘルスケアグループは、河野正清さんが2005年に関東地域のヘルスケア歯科診療に関心のある会員を中心に立ち上げたスタディーグループで、

地方のヘルスケアグループの先駆けとなった集まりです。東京ヘルスケア診療所づくりミーティングは、若手に発表する機会を設けることにより、認証診療所を目指していただくことを趣旨に始まりました。

当日、プーケットから帰国したばかりの河野正清代表が、見事に日焼けした顔で代表挨拶して、会が開催されました。

午前中は、女性歯科医師、まだ開業間もない若手歯科医師、ヘルスケア歯科診療を始めたばかりの開業医、勤務医の4名の歯科医師が発表しました。

1人目の発表者は川越市「ひかり歯科医院」院長の星原如子さんです。2006

年に開業後、しばらくして歯科衛生士の落合真理子さんとの出会いがきっかけになり通常の診療スタイルからヘルスケア歯科診療へ転換されたとの発表でした。女性歯科医師が試行錯誤しながら診療スタイルを変える苦勞がうかがえました。

2人目は川崎市「新百合ヶ丘南歯科」院長の高山祐輔さんです。2016年開業し、その年の9月に日本ヘルスケア歯科学会に入会しました。開業当初保険診療も行っていましたが現在は完全自費診療のスタイルです。ヘルスケア歯科診療のスタイルは自費診療のベースとなっており、大変充実した診療を行っている様子です。

3人目はひたちなか市「あおば歯科クリニック」院長の石崎達司さんです。開業12年目ですが、ヘルスケア歯科学会に入会したのは平成27年からです。ショッピングモール内で開業されたのですが、震災をきっかけにスタッフの不足、入れ替えに悩み、院内をいろいろと改革して、杉山精一さんとの出会いをきっかけにヘルスケア歯科診療のスタイルを確立したとのことでした。



左から星原さん、高山さん、石崎さん、木村さん

4人目は上尾市「イリマデンタルクリニック」の木村昌太郎さんで、現在まだ勤務医（分院長）です。学生時代から予防は大切だと聞いていたのですが大学では予防について教わる機会がなく、どこで勉強してよいか悩んでいたときに友人の助言をきっかけに分院をヘルスケア歯科診療に転換したとのことです。

昼食を挟んで午後からは開業数十年のベテラン院長3名が、比較的大規模で経営されている中での日々の診療を発表されました。

千葉県習志野市「まさき歯科医院」院長の藪下雅樹さんは1993年に開業されて20年後の2013年隣接した土地を購入し医院を拡張したとのことです。従業員は非常勤を含めて35名ほど在籍しているのですが、勤務医を含めマネージメントの苦勞を発表されました。

午後2人目は江戸川区「宇田川歯科医院」院長の宇田川義朗さんです。2001年開業し、2013年に移転拡張したのですが、スタッフが次々と辞めていく試練をTV「しくじり先生」に例えた発表は、会場内

がざわめき立ちました。いろいろ苦勞されるなかで人間力教育を大切にしているとのことで大変参考になりました。

最後の発表者は小金井市「沼澤デンタルクリニック」院長の沼澤秀之さんです。分院を含め4医院、総従業員数は60名の大規模歯科医院です。自身は、平成20年ユニット5台で開業したのですが、2ヵ月で医院崩壊の危機を経験し、いろいろ試行錯誤して再建した様子を発表していただきました。特に優秀な歯科助手の役割等、興味深い内容でした。

今回は7名の若手からベテラン歯科医師の発表ですが、ヘルスケア歯科診療も様々なかたちがあり、各医院で試行錯誤しながら現在に至る経緯の発表を聴講できたことは大変有意義でした。

発表者を含め参加者は皆さん顔見知りということもあり、和やかな雰囲気の中で診療所づくりミーティングは終了しました。



第2回ヘルスケア実践セミナー Part2 報告

2018年2月11-12日 大阪コスモスクエア国際交流センター



秋元秀俊（コメンター）

このセミナーは、知識や技術を学ぶ研修ではなく、その名のとおり実践する研修で、従来にない主催者側の気配りの行き届いた研修が特徴です。2月11-12日の両日、第2期2回目の研修が大阪港のコスモスクエア国際交流センターで、開催されました。前号で第2期の1回目の参加者全員のひと言感想文を掲載しましたが、他にも種々参考になることが多いので、改めて詳しくご紹介します。

□「実践」って、何？

まず、このセミナーで言う実践ですが、

これはヘルスケア診療を「知っている」だけでなく、少しでもいいから「やっている」に転換しようという意味での実践です。

前回のセミナー終了まぎわに、高木景子さんが全員に宿題を出しました。私は、宿題をしなくていいオブザーバーだったので、じつは高木さんのお話にあまり注意を向けていませんでした（すみません）。なにしろ、午前3時まで語らって6時過ぎに起きて5キロ走って朝から藤木さんの講義を聴いてグループディスカッションで気が抜けず、やっと最後になって、高木さんが紙を配って参加の皆さんに何やら書いてもらっていたのです。

この2回目は、前回の最後に（高木さ



んが配った紙に）各自が書いた「自分の課題」をどう実践したか、その発表がメインプログラムだったのです。そう、1回目は自己紹介のプレゼンテーション、2回目は1回目の最後に各自が自分で決めた課題をどのように実践したか、その報告の発表だったのです。

午後1時スタートのプログラムでしたが、1期生5人が自主的に実践報告をすることになって午前11時スタート。

続いて中本知之さんの進行で、22人の課題発表のプレゼンテーションが延々と繰り返されました。ご家庭の都合で、キャンセルになった1人を除いて、ただ



の1人の脱落者もなく、全員が課題の実践について発表しました（なかには、課題発表から逸れて皆さんに講義をしてしまった人も約1名いましたが）。そしてこれに藤木さんが、丁寧なコメントをします。他の参加者も、A4の紙を1/4に切ったメモ用紙に、1人のプレゼンテーションに1枚ずつ感想を書いて、その度に集めます。

□ きめ細かいアドバイスが飛び交う

「病因論の……Achieved（達成）」「口腔内写真の規格性……Achieved（達成）」「ヘルスケア型をスタッフに浸透させる……Ongoing（進行中）」明石で開業して8ヵ月という秋山廣輔さんが、こんな風にきれいに整理して示してくれたので、私は初めてこの発表が、自分で掲げた課題の一つひとつについて、その達成如何を報告しているということを理解しました。「口腔内写真は、歯科衛生士の大本さんに教えに来てもらった。そのときにもカメラのことを指摘されたが、価格のために6ヵ月ためらった後、サンフォートのカメラを購入、なーんだ、初めから導入すればよかった」即、5枚法から12枚法に転換。医院見学は、保険の新規指導で中止という話の流れだったか、「したたかに保険の制度を利用してください」藤木さんの口からとは思えないひと言が聞こえました。

宇和島の中尾美鈴さんの「余裕をもったアポイントにしたが、キャンセルされると心臓が悪い」という発言をきっかけに、オブザーバーから「キャンセル時にすぐ呼べる予備患者リストをつくる」ことや、「キャンセルは理由を知って対応

する」「空いたらコレをすると決めておく」というきめ細かいアドバイスが飛び交いました。「美容室のキャンセル率が低い、何故か知ってますか。美容室は、プラスのことばかりだからです」と声を上げたのはオブザーバーの渡辺 勝さんだったでしょうか（記憶違いだったらすみません）。このキャンセル対策は、別の発表でも尾を引きました。キャンセルが怖いのでタイトなアポイントにするという意見に対して、オブザーバーの斉藤 仁さんは「入室から退室まで、絶対必要な時間があるので、60分のアポイントは実質45分、30分のアポイントは実質15分」と解説。藤木さんは、「キャンセルさせない総合力」という言葉で、1時間枠の意義を強調しました。

そう厳しい言い方をしながらも、他方では「無理しない」「身の丈に合わせてやればいい」というのが、この実践の実践たるところです。理想的なことを掲げて一歩踏み出さないのは実践ではないのです。

中尾さんは、ステップアップの目標を掲げて、「症例検討は始めたのですが、次のアポイントまでに終わらない、子どもの口腔内写真を撮るという課題は、まだできていない…」これに対して「全部途中というのは悪いパターン」と藤木さんはいつになく厳しい言葉でした。

□ 通称「藤木塾」個人名をつけるに相応しい

この研修会は、通称「藤木塾」と言われますが、ここでの藤木さんの顔は、実に優しいのです。仏様のような。院長であるドクターたちに向かって、「スタッフにNG出したらダメ、やる気を殺してしまう」というとき、藤木さん自身が目の前の参加者のやる気を引き出すことに本気で気配りしているのです。

目標は低く、しかし着実に実践する。「非喫煙者の中等度までを確実に治す」「リスクのある小窩裂溝は見逃さない」「メンテナンスも頻繁にやればよいとい

うものじゃないよ。DHという資源を無駄遣いしない」「医療の目的は、患者によって、とくに患者の年齢によっても変わるの。90歳の人はポケットよりも根面カリエスや肺炎予防を考える。うちでは“準メンテ”って呼んでるって言いましたね」「スタッフが産休のときもあるの。長くやっていると、パワーダウンしなければならぬときがあるもの。そういうときは患者さんを絞る。スモーカーよりノンスモーカーというようにね。“軽”には“軽の運転”があるでしょ」

こういう話が、若いドクターたちの中からだの中に音もなく染み込んでいくのを感じました。なるほど「藤木塾」と個人名を付けるに相応しいセミナーです。

和歌山の有田みかんの里から参加した笹野晋平さんは、この研修会の1回目を受講した後の11月末に開業したのですが、ゲン担ぎで植えたメインツリーが台風で倒れ、オープンがみかん収穫の繁忙期と重なったため、目先まっくらになっていたものの、スタッフは歯科衛生士3人、受付助手2人が来てくれて、オープン翌月新患160人、1月120人、その28日に入籍結婚と幸せいっぱいプレゼンテーションをしてくれました。逆に悲観的な発表もありました。とにかく若い皆さんですから、日々ドラマなのです。

変えていこう、実践しようと考えたら、それがストレス。アシスタントと歯科衛生士が立て続けに産休になり、残ったアシスタントは無断欠勤のため解雇…。するとすかさず、藤木さんは自分の話をします。「開業40年目にして最大のピンチでした。こういうときはスローダウンするしかないですね。アポイント枠を4台から3台に減らして、パートさんをお願いして、翌月新人アシスタントが入ると、年が明けて元の従業員だった歯科衛生士さんがパートで勤務してくれるようになって、なんとかなったのです」そしてハンドピースの自動洗浄器を入れて省力化したという情報も付け加えます。



□最後に最高のプレゼント

発表を聞きながら全員にコメントを書くのですから、みんな気を抜けません。

そして問題を出し合って、解決策を議論するグループワークの後、今回からは修了書の授与式です。ところが、ここで修了書と一緒に小さな紙の束が用意されていたのです。全員から一人ひとりに向けたメッセージが、束ねられて渡されたのです。誰のアイデアでしょうか、この実践セミナーの表の立役者はだれがどうみても丸山和久さんです。きっと丸山さんか、高木さんのアイデアでしょうね。このセミナーで藤木さんが自然体で語るの、肩の力の抜けた丸山さんがそん

な雰囲気をつくっているからです。

□終わっても終わらない

この実践セミナーは、終わったあともメーリングリストやフォローアップセミナーが続いています。

メーリングリストは、エックス線写真を添付した症例相談に始まり、そこから小児のう窩の処置と痛みへの配慮、軟化象牙質を取るためのインスツルメントに関する議論、さらに症例を提示した意見、AIPCと抜髄、障害児に対する痛みを伴うAIPCなどなど、議論が白熱しています。首都圏組のフォローアップセミナーの開催（8月5日）も決まりました。



受け取ったコメントの束を見入る参加者

そのなかで、参加者からもらったコメントの中の「心に響いた一言」を皆さんが一つずつ挙げましたので、最後にご紹介します（→の後の名前の人に向けたメッセージです）。

「常にスタッフの事を考えるのは大事なことです」

→後藤光成（後藤歯科医院）

「『分かりやすかった』と何人かの先生方から書いて頂いたこと」

→山下大吾（西すずらん台歯科勤務）

「すごくレベルアップしてて、嬉しい誤算です」

→河野雄一郎（きはくの里歯科医院）

「『限られた時間、決められた時間全力投球する』をルールにというのもアリです」

→中尾美鈴（なかお歯科クリニック）

「システムが先にあって、それに自分達が合わせている感じがします。カリエスリスクにしてもなぜ必要なのか、何のために行うのかをしっかり考え、そこからシステムができるのだと思います」

→星原如子（ひかり歯科医院）

「システムが整うの先に『治る』があるわけではないように思えました。デンタルや写真、正しいプロービングができるようになって、フィードバックがないと治らない状態が続きそうです」

→村松崇稔（むらまつ歯科クリニック）

「勤務医の先生なのに改革を頑張っているのに凄いと思いました」

→田中俊行（宮本歯科医院）

「着実に一步一步進んでいるかと思いますが、ヘルスケア診療は山あり谷ありですが、少しずつでも進めていけばよいと思います」

→桜田典伸（桜田歯科医院）

「手の抜ける（楽できる）ところは抜いて、システムに頼ったり、人に頼ることで、余力をもっと患者やスタッフに注げますね」

→秋山廣輔（あきやま歯科クリニック）

「ミッションが一つ役目を終えたら"終了"にしないと次から次へと増えるばかりになってしまいます」「自分がみてもらっている、と実感するとみんながんばりますね、そのとおりです」

→安部 佐（港北歯科クリニック）

「とにかくやってみたことが良かった」

→吉野仙峰（ゆら歯科クリニック）

「新たに作成したサブカルテに記入雛形を作るなど几帳面な仕事されているなど感じました」

→田中勝幸（あおぞらデンタルクリニック）

「口腔内写真の構図???今一度確認を」

→田幡 壮（わたしの歯医者さん）

（予習復習に関して）参考になったコメント「その日のカルテは分けてあり、私のチェックが終わってはじめてカルテ棚に片付けられるようにしています」

→杉山修平（杉山歯科医院）

「歯周病の説明に際に重度歯周病だけでなくレントゲンにて少し骨吸収のあるものを正常と比較して目に見える前のアプローチが必要である事を説明すると良いですね」

→瀬川 卓（むらまつ歯科クリニック）

お詫び

ニューズレター vol.20 no. 5 の p.20 に掲載した高松ワンデー参加報告で秋山廣輔さんの文章の最後一文が漏れていました（下線部）。ここにお詫びいたします。

「…チーム一丸となって様々なドラマを生み出し、一喜一憂してまいりたいと思います。」





第13期生(2018年度)募集のご案内

2018年度歯科衛生士育成プログラムの受講受付を開始します。受講ご希望の方は、事務局までファックスにてお申し込みください。学会ホームページ、スマートフォンからもお申し込み可能です。なお、基礎コースおよび認定実技検定会を受講または受検される場合には、日本ヘルスケア歯科学会 会員であることが必須です。

※詳細は次号 (vol.21 no.2) に同封予定のパンフレットをご参照ください。

基礎コース

定員 24名
受講資格：学会会員
最少催行人数 8名

日程： 1 / 2日目 2018年 9月 23日(日), 24日(月祝)
3 / 4日目 2018年 11月 3日(土祝), 4日(日)
5 / 6日目 2019年 2月 10日(日), 11日(月祝)
会場： 太陽歯科衛生士専門学校(東京・日暮里)
受講費： 150,000円 / 歯科衛生士1名
申込締切： 9月8日(先着順 8/23までに最少催行人数に満たない場合は中止)

歯科衛生士研修会

定員 各24名
受講資格(共通)：
学会会員, 診療所会員
最少催行人数 8名

口腔内写真撮影相互実習研修会
日程： 2018年 5月 20日(日)
会場： 太陽歯科衛生士専門学校(東京・日暮里)
参加費： 会員 20,000円 診療所会員 26,000円
申込締切： 4月28日(先着順 4/20までに最少催行人数に満たない場合は中止)

歯周組織検査相互実習検定会

日程： 2019年 3月 3日(日)
会場： 太陽歯科衛生士専門学校
参加費： 会員 20,000円 診療所会員 26,000円
申込締切： 2月16日(先着順 2/2までに最少催行人数に満たない場合は中止)

認定歯科衛生士実技検定会

定員 16名(再検定者含む)
受検資格：学会会員

第9回 日程： 2018年 6月 3日(日)
会場： 未定(神戸)
申込締切 5月15日(先着順)
第10回 日程： 2018年 7月 1日(日)
会場： 太陽歯科衛生士専門学校
申込締切 6月16日(先着順)
第11回 日程： 2018年 12月 9日(日)
会場： 太陽歯科衛生士専門学校
申込締切 11月24日(先着順)
受験料：各回 15,000円 再検定 5,000円



告知板

敬称略

○兵庫ヘルス「スタッフにも聞かせなきゃ」

日時：2018年7月29日(日) 9:30～

場所：スペースアルファ三宮

午前：藤木省三「(仮)今みんなに伝えておきたいこと」

午後：高木恵子+α

藤木さんは本『ホームデンティスト・プロフェッショナル』も発刊され、今年は第2巻、3巻と続くはずですが、各地各所で講演されていますが、最近地元がおそろそかになっている気がしましたので(笑)、この度お願いしました。また午後からは滅菌・消毒関係について高木さんにお話しいただきます。各医院でできるだけのことをやっている

つもりですが、果たして理にかなっているのかムダなことをしていないのか…。

参加費：医院一人目 10,000円
2人目以降 3,000円

兵庫ヘルスのメンバー以外の方も歓迎。

お申し込み：件名を「7 / 29 申込み」として、k-maru@nn.ij4u.or.jp (丸山和久)まで、医院名と参加人数を送信ください。

報告

「市販こども用歯みがき剤ガイド」(2017年版)の訂正・回収について

本学会発行の「市販こども用歯みがき剤ガイド」(2017年版)に誤りがありました。下記のとおり訂正するとともに、昨年末から2017年版をご購入いただいた歯科診療所、保健センター、歯科医師会などに対し、「ガイド」を回収するとともに、改めて修正した「ガイド」を再送付致しました。

記

ライオン株式会社の「クリニカ kid's ハミガキ (いちご/グレープ/ピーチ)」のフッ素濃度を約 500ppm と記載していましたが、同製品のフッ素濃度は 950ppm です。

以上

経緯について

この「市販こども用歯みがき剤ガイド」は、こども用歯みがき剤について、フッ化物含有量を明示していない製品が多いため、育児にあたる人が安心して有効にフッ化物含有歯みがき剤を使えるように、情報提供することを目的に発行しているものです。フッ素濃度については、各商品のパッケージに記載された情報、およびフッ素濃度の記載のないものについては、メーカーに問い合わせ、得られた回答を公表しています。このように「ガイド」のフッ素濃度はメーカー公表値です。ただし、一部のメーカーは、こども用歯みがき剤のフッ素濃度について、非公表としています。

この度、ある保健相談所から「クリニカ kid's ハミガキのフッ素濃度が違っているのではないか」との問合せを受けたことをきっかけに、詳しく再調査したところ、次のことが明らかになりました。

同製品の製造・発売元であるライオン株式会社は、こども用歯みがき剤のフッ素濃度について非公表とし、消費者などからの問合せに対し、「大人の製品の半分程度」と口頭で回答してきたとのことです。本会の2017年版は、同様の口頭での回答に基づいて作成したものです。しかし、ライオンお客様担当は、同社のこども用歯みがき剤のうち、「クリニカ kid's ハミガキ」を含む4商品について、漠然と「大人の製品の半分程度」と回答してきたが、文書では公表できないものの、「クリニカ kid's ハミガキ」のフッ素濃度は 950ppmであることを明らかにし、「大まかな回答をして、誤解を招き申し訳ない」旨、伝えて来られました。

本会としましては、「市販こども用歯みがき剤ガイド」の趣旨に鑑み、重大な誤りであると判断し、誤りを公開し、販売済みパンフレットをすべて回収することにしました。

2018年2月22日

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会

第15回「健康を守り育てる診療所」認証ミーティング

2018年6月24日(日) 12:00～17:30(予定)

千里ライフサイエンスセンター 6F (大阪府豊中市新千里東町 1-4-2) <http://www.senrilc.jp>

認証申請診療所 (2018年3月2日現在・申請準備中含む)

- ・ 枳富歯科医院 (枳富健二, 徳島県板野郡)
- ・ 堀坂歯科医院 (堀坂寧介, 兵庫県神戸市)
- ・ やまもと歯科クリニック (山本修平, 兵庫県神戸市)
- ・ まるやま歯科 (丸山俊正, 福岡県福岡市)
- ・ デンタルフリーまちこクリニック (木下真千子, 三重県鈴鹿市)
- ・ 加藤歯科 (加藤久尚, 北海道空知郡南幌町)
- ・ おひさま歯科クリニック (澤幡佳孝, 熊本県熊本市)

【外部審査員】

北澤京子さん

京都薬科大学客員教授, 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野, 元日経メディカル編集員
患者視点の医療情報提供者として, 知る人ぞ知る人です。
CASP という EBM ワークショップの講師として長く活動され, Choosing Wisely の紹介者としても知られています。

Choosing Wisely とは, 米国内科専門医機構財団 (ABIM) が 2012 年に開始したキャンペーン活動です。

もうお一人は, 認定 NPO 法人 ささえあい 医療人権センター COML に推薦を依頼しています。COML は, 医療消費者団体の草分け的存在として知られますが, 目下, 「医療を支える市民養成講座 (3 ヶ月 5 日計 15 時間)」を開催しています。

神戸ウィステリアセミナー

2018年4月22日(日) 10:00 ~ 16:00

スペースアルファ三宮 中会議室 神戸市中央区三宮町 1-9-1 三宮センタープラザ東館 6F
(<http://www.spacealpha.jp/sannomiya/>)

神戸での開催は、
3年連続3回目

講師：藤木省三（神戸市開業） 森一弘（アクセス代表）

すでに使ってる方にもこれから使う方にも対応します
「ウィステリアでできること」「集計、検索のコツ」「LANを
組む際の注意点」「これだけは入力しておこう」、etc.
早期申込者には個別にお困りの点、疑問点を予め聞き取り
させていただきます。



ハンズオンセッションあります。

当日はパソコンをご持参ください。ウィステリアをお持ち
でない方も試用版をご利用いただけます。実習で使用する
ウィステリアには、サンプルデータを充実させて、実際の
集計作業を行っていただく予定です。

※試用版対応 OS Windows 7/8/10 Mac 10.7 以上

※ 詳細は今号のニュースレターに同封のパンフレットをご参照ください

参加費：1人目 15,000円
2人目以降 3,000円/1人

※ 医院単位での参加費です。非会員の方も受講可能です。

※ お弁当はありません。



名古屋ワンデーセミナー

2018年5月20日(日) 10:00 ~ 16:00

名古屋コンベンションホール 中会議室 201 名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート
(<http://www.nagoya.conventionhall.jp/access.html>)

東海地方で
初開催

「いこまい、やろまい ヘルスケア」

高橋 啓 「予防というよりヘルスケア」

藤木省三 「ホームデンティスト・プロフェッショナル～長く患者さんと関わるとのこと」

木下真千子 「始めてよかったヘルスケア——患者さん、スタッフと共に」

西村 誠 「続けてよかったヘルスケア——スタッフ、患者さんと共に」

高木景子 「いこまい、やろまい ヘルスケア」

※ 詳細は今号のニュースレターに同封のパンフレットをご参照ください

参加費：会員歯科医師 8,000円 非会員歯科医師 12,000円
会員スタッフ 3,000円 非会員スタッフ 6,000円
学生・研修医 2,000円

※参加費はお弁当代を含みます。



東京ベーシックセミナー

2018年5月27日(日) 10:00 ~ 16:30

「ヘルスケア歯科診療を実践するために」

エッサム神田ホール 2号館 4階 大会議室 (2-401) 千代田区内神田 3-24-5
(<http://www.essam.co.jp/hall/access/#building-2>)

ヘルスケア歯科診療に必要なう蝕と歯周病の知識と実践 杉山精一
ヘルスケア型歯科診療の流れと歯科衛生士の役割 田村恵
ヘルスケア歯科診療の実践 田中正大

このセミナーでは、予防型歯科医院に勤務した新人の方、これから
予防型歯科医院を構築したいと考えている歯科医師、歯科衛生士、
歯科助手、受付の方を対象に「ヘルスケア歯科診療」という考え方
を理解していただくことを目標としています。

杉山さんのパートでは、ヘルスケア歯科診療についての詳しい説明
もします。

田村さんのパートは、ヘルスケア型歯科診療の流れと歯科衛生士の
役割、症例についてなるべく「ヘルスケア歯科診療」という考え方、
その素晴らしさを理解していただくことに努めます。

田中さんのパートでは、院長の立場からヘルスケア歯科診療の実践、
チームで取り組む実際の症例についてお話します。

※ 詳細は今号のニュースレターに同封のパンフレットをご参照ください

参加費：会員歯科医師 8,000円 非会員歯科医師 12,000円
会員スタッフ 3,000円 非会員スタッフ 6,000円
学生・研修医 2,000円

※ お弁当はありません

